

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/06/03号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

調整局面続くゴールド

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



終わってみればドル建てでも円建てでもゴールドはオープンとクローズがほぼ同じレベルで動きが無かったという一週間で、実際のレンジも最近では非常に狭いレンジでの動きとなりました。目立った経済指標がなかったこと、FEB高官のタカ派的発言に頭を抑えられて上値が抑えられながらも、下値では執拗な買いがサポートしている状態。おそらく中央銀行はゴールドが下げたところを買っており、これは長期的な投資家として大いに見習うべきだと思います。現在のゴールドのマーケットはパンデミックとロシアのウクライナ侵攻以来、大きく変わりました。それまでのゴールドは実質金利と反比例な動きをするのが教科書的なルールでしたが、その関係が乖離。この二年間は実質金利の上昇と同時にゴールドが上昇が進んでいます。その背景には金利とは関係のない買いが発生しているということであり、その代表が新興国の中央銀行です。中央銀行は2010年以降、ネットの買い手となりましたが、それから2022年のロシアのウクライナ侵攻までは、多い年でも600トンでしたが、2022年そして2023年は年間1000トンを超え、今年2023年もその買いのペースは衰えていません。その大きな理由は、米国がドルを経済的武器として、ロシアや中国に対して使ったことです。これによりG7以外の諸国は米ドルをもちや資産としてではなく、「リスク」として認識するようになり、「ドル離れ」が顕著の進んでいるからです。この流れは世界が米国が中心の一極から多極化へ進んでいるということで、おそらく今後も続くでしょう。もはや時代が逆戻りすることは想像ができません。だとすればゴールドのニーズは高まる一方となり、もちろん短期的な上げ下げは西側諸国の「従来の常識で動く投資家」によって生まれるでしょう。しかしそれはあくまで短期的な動きとなり長期的には上がっていく、過去50余年の動きが続いていくでしょう。その意味でもポートフォリオとしてゴールドを足していくのは今のように短期的な下げの時だと言えるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

シルバーもゴールドと同様一週間のオープンとクローズがほぼ変わらず。注目はやはり30ドルの大台をキープできるかどうか、です。これまで過去のシルバーの動きを見ていると30ドル以上の価格はいずれも長続きはしていません。しかし今回に上げの根底には絶対的な供給不足の流れがあり、これまでの投機筋による短期的上昇とは違うのではと思います。



「プラチナの現状」

プラチナもゴールドとシルバー同様狭いレンジとなりました。ただ週初より高いレベルで引け、以前よりもプラチナの割安さに注目する投資家が増えていると思います。1000ドルサポートをキープできれば1100ドルへの上昇が期待できると思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで